

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No17(新著)

#2 白井利明・杉村和美著(2022年4月)  
『アイデンティティー時間と関係を生きるー』新曜社

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

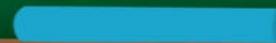
<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



## (ご紹介)



白井利明

しらい としあき

大阪教育大学名誉教授

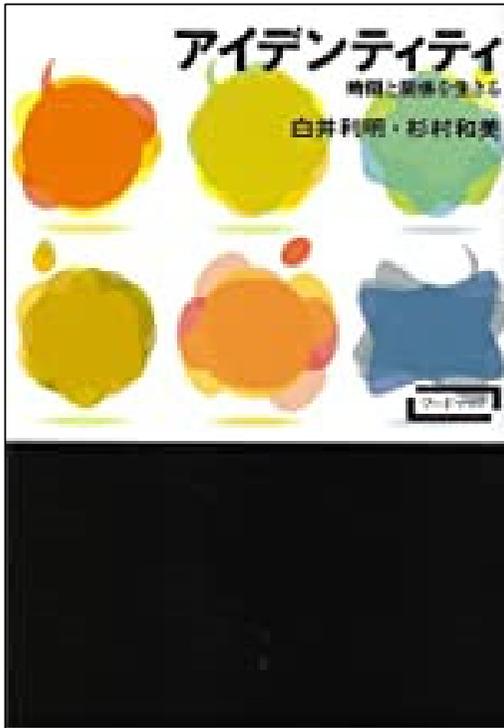
愛知教育大学卒、東北大学大学院博士課程  
大阪教育大学助手、助教授、2001年教授を経て、  
2022年4月より大阪教育大学名誉教授

専門は、発達心理学・青年心理学

主著『＜希望＞の心理学』（講談社現代新書, 2001年）  
第5回青年心理学会賞（2011年）を受賞。第3回国  
際時間的展望学会（デンマーク）で招待講演（2016  
年）

2022年～ 日本青年心理学会理事長





白井利明・杉村和美著（2022年4月）  
『アイデンティティ  
—時間と関係で生きる—』新曜社

（目次）

- 第1章 エリクソンのアイデンティティ理論
- 第2章 アイデンティティ・ステイタス理論の考え方と展開
- 第3章 ダイナミックシステム・アプローチによるアイデンティティ研究
- 第4章 自己連続性の構築

それではご覧ください

白井利明・  
杉村和美  
『アイデンティティ』  
時間と関係を  
生きる  
新曜社  
2022年4月



# 目次

- 第1章 エリクソンのアイデンティティ理論
- 第2章 アイデンティティ・ステータス理論の考え方と展開
- 第3章 ダイナミックシステム・アプローチによるアイデンティティ研究
- 第4章 自己連続性の構築

# 第1章 エリクソンのアイデンティティ

- 従来の問い＝「私は何者か？」 → エリクソンの問い＝「私はどう生きるか？」
- 相互確証＝「私を認めてくれる → 私が認めてあげられる」
- 言葉の裏にある自我のコミュニケーション＝「私」と「私たち」を分割する境界に立たされる → 自我(私)を分割＝肯定的アイデンティティと否定的アイデンティティ

## 第2章

# アイデンティティ・ステイタス理論 の考え方と展開

- アイデンティティとは他者との関係のしかた
- 他者の視点と自己の視点を結びつけて1つのシステムを作る
- 親子関係のシステムと友人関係のシステムの間の矛盾を自分なりのやり方で解決する



杉村和美先生

## 第3章

# ダイナミックシステム・アプローチ

### これまでの研究

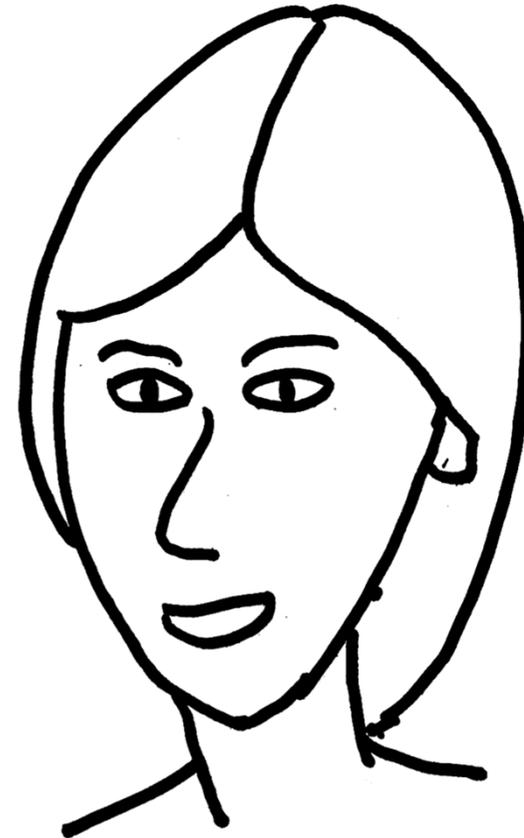
発達とは「何歳になったら大体こうなる」こと

### ダイナミックシステム・アプローチで

### わかること

一人ひとりの発達で「実際に起きていること」

「一人ひとりが文脈と相互作用するなかで、瞬間、瞬間に非線形的に変化していく過程」



サスキア・クヌン

# 第4章 自己連続性の構築

## 本質主義の語り

変化するものは見かけであり  
変わらぬものが本質である

## 語り主義の語り

時間とともに生きること  
流れを作り、  
他者とつながること  
その人となりを作る



マイケル・チャンドラー(1938-2019)